

「山川小学校における福元棒踊り伝承活動の取組」

1 学校名

指宿市立山川小学校

2 学年・人数

3年生から6年生 計40人

3 場所・日時

(1) 練習の日時・場所

月	日 時 (4校時)	場 所
6月	24日(金) 11:35~12:20 (B校時)	山川小体育館
	28日(火) 11:45~12:30	
7月	4日(月) 11:45~12:30	
	6日(水) 11:45~12:30	
	11日(月) 11:45~12:30	
	14日(木) 11:45~12:30	
9月	26日(月) 11:45~12:30	
	30日(金) 11:45~12:30	

(2) 発表の日時・場所 (平成28年度)

- ・平成28年 6月 5日(日) 山川みなと祭り
- ・平成28年 9月 19日(月) 町区敬老会
- ・平成28年 9月 19日(月) 福元区敬老会
- ・平成28年 10月 2日(日) 山川小学校第70回運動会

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

福元棒踊り (フクモトボウオドリ)

(2) 由来

時代は定かではないが、明治時代頃から福元地区に伝わる郷土芸能である。一説では、山川港~琉球との貿易で持ち込まれたものといわれている。

(3) 構成等

6人1組で構成し、一人1本棒を持ち、唄い手の声に合わせてリズム良く前後左右の踊り手と棒同士を打ち合う。テンポが速く、勇壮活発な踊りである。1番から3番までであるが、段々リズムが速くなりそのリズムに合わせて踊ることから、スピード感と棒さばきに注目が集まる。

5 保存会や地域との連携の具体

例年、山川みなと祭り・町区敬老会・福元区敬老会・運動会での発表に向けて保存会の皆様に指導をしていただいている。始めに、3・4年生を対象に、棒踊りの由来や取組の現状等について講話をしていただき、講話後に実際に踊りの指導をしていただいている。練習の期間中は4校時(11:45~12:30)にも関わらず、交代で複数名来てくださっている。また、3~6年生担任も一緒に練習に参加し、覚えて指導に活かしている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

保存会の方々だけでなく、担任も一緒に練習に参加し踊りを覚えて児童に指導している。また、発表前には、昼休み等を活用し、上学年の児童が下学年の児童に、自主練習の呼びかけをして熱心に教えている。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



(保存会の方の講話)



(山川みなと祭りでの披露)



(町区敬老会での披露)



(今年度初めての練習)



(運動会での発表)



(福元区敬老会での披露)

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【児童生徒】

- ・ 山川小学校の伝統なので、ずっと続けてずっと残してほしい。
- ・ 最初は難しかったけれど、覚えたらとても楽しくてやりがいがある。
- ・ みんなで踊りを揃えるのがいい。
- ・ 上学年に教えてもらえるので楽しい。

【保護者】

- ・ 保存会や地域の方々に指導していただき、子どもたちが大きく成長できているように思う。今後も、このような発表する場を設けていただきたい。

【保存会】

- ・ 学年が上がるほど踊りがしっかりとして揃っている。普段の真剣な取組に感心する。
- ・ 上級生が下級生にとっても丁寧に教えている。伝統がしっかりと受け継がれていると感じる。自分たちも教えるのが楽しい。

【教職員】

- ・ 子どもたちが、伝統の踊りであることを自覚して、とても真剣に取り組んでいる。これからも伝統をしっかりと引き継いでほしい。
- ・ 忙しい中、保存会の方々が、学校の授業時間に合わせて来校し、とても丁寧に指導して下さるのでありがたい。